

授業科目(ナンバリング)	栄 養 の 生 物 学(IC190)			担当教員	射場 仁美・菊地 優子		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニングの類型
管理栄養士養成のために、これから学ぶ多くの医学・栄養学領域の専門科目を理解し、それらの知識と技術を修得するために必要な基本的な知識（生物学的知識）などを総合的に身に付ける。							① ② ③
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	専門用語を説明できる。 生体の構造と機能を説明できる。 生体の構造と機能を関連させて考えることができる。					・定期試験 ・小テスト	50% 20%
情報収集、分析力	課題や疑問に対して、適切な文献等を選択し調べることができる。					・定期試験 ・小テスト	10% 10%
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	授業や課題を通して関心や疑問を持ち、質問や助言を求めることができる。 計画的に自主学習ができる。					・授業態度・授業への参加度及び自主学習の取り組み	10%
多様性理解力							
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
・定期試験の成績を60%とする。 ・第5回目と第10回目に30分程度の小テストを行い、その結果も評価に加える（30%）。 ・定期試験及び小テストは、筆記式、穴埋め式、○×式等を組み合わせた形式とし、名称や専門用語の正確性や生体の構造と機能の理解度を評価する。 ・試験の際、誤字・脱字は減点対象とする。 ・授業への参加度として、授業中の質疑応答、自主学習の取り組み、ポートフォリオの復習ドリルの取り組み及び返却後の小テストのやり直し等を評価する（10%）。また、小テスト、復習ドリル、リフレクションカードのコメント等のフィードバックを授業で行う。							
※別途指定する「リメディアル生物」を必ず受講すること。							
授 業 の 概 要							
生体の構造や機能、代謝などに関する領域について、高校で習った生物を復習するとともに、大学で学ぶ専門科目への導入としての基礎知識を身に付ける。 配布資料、パワーポイントを用いた講義形式で行う。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：特に指定せず、必要に応じて資料を配付する。 参考書：「シグマベスト 理解しやすい生物 生物基礎収録版」水野丈夫・浅島誠共著（文英堂） 指定図書：「シグマベスト 理解しやすい生物 生物基礎収録版」水野丈夫・浅島誠共著（文英堂）							
授業外における学修及び学生に期待すること							
・高校で使用した教科書または参考書を事前に読み、授業に臨むこと。 ・授業で用いた資料やノートを十分に復習すること。 ・授業中の私語、携帯電話（スマートフォンを含む）の不必要な使用に関しては、厳しく対処する。 ・特別な事情を除き無許可での途中退室は、認めない。不適切な態度の受講者は、出席として認めない。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予習・復習
1	基礎知識の確認	高校で学んだ生物学的知識の確認	高校で勉強した生物の復習
2	細胞と組織 1	細胞の構造・機能	細胞についての予習 細胞の構造と機能の復習
3	細胞と組織 2	細胞の代謝、代謝を支える酵素	酵素についての予習 酵素の性質と働きの復習
4	細胞と組織 3	体細胞分裂、減数分裂	細胞分裂についての予習 体細胞分裂と減数分裂の復習
5	細胞と組織 4	組織と器官 小テスト	組織について予習 人体の構成の復習
6	栄養成分 1	糖質、脂質、たんぱく質	糖質、脂質、たんぱく質について の予習 三大栄養素の構造と性質の復習 小テストのやり直し
7	栄養成分 2	異化	呼吸についての予習 好気呼吸・嫌気呼吸の復習
8	栄養成分 3	同化	光合成についての予習 光合成、窒素同化の復習
9	栄養成分 4	消化、吸収	消化と吸収についての予習 三大栄養素の消化と吸収の復習
10	栄養成分 5	排泄 小テスト	肝臓と腎臓についての予習 肝臓・腎臓の構造と働きの復習
11	個体の恒常性 1	血液と循環器系	血液と心臓についての予習 血液の組成と働き、心臓の構造 と働きの復習 小テストのやり直し
12	個体の恒常性 2	ホルモンとその働き	内分泌腺とホルモンに についての予習ホルモンの作用の 復習
13	個体の恒常性 3	自律神経系とその働き	自律神経についての予習 ホルモンと自律神経の協調の 復習
14	個体の恒常性 4	生体防御	免疫に関わる器官・細胞につい ての予習 液性免疫・細胞性免疫の復習
15	遺伝情報とその発現	DNA とタンパク質の合成	DNA についての予習 DNA からタンパク質が合成され る過程の復習
16	定期試験		

注) 授業の進行度により変更する場合がある